

研究員担当講師のプロフィール:

東京学芸大学名誉教授、農学博士、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー、農山漁村文化協会理事、自然文化誌研究会相談役。

民族植物学および環境学習原論専攻。雑穀の起源と伝播の研究で日本全国およびユーラシア各地のフィールド調査に従事し、雑穀研究会を創業した。特に、生物文化多様性保全に関心を持ち、雑穀と野菜の在来品種の保存、調理法の調査を行ってきた。生物多様性条約締約国会議 COP10 には、市民団体から在来品種の種子の保存に関する提言を行った。また、環境学習の実践と理論を研究して、環境教育推進法を提案し、『環境学習原論』を提起した。環境教育研究会から日本環境教育学会を創業した。

師匠は阪本寧男(民族植物学)、降矢静夫(山村農)および高木文雄(行政策)、さらに国内外の多くの大学や研究機関で優れた先達から学んできた。訳書に『民族植物学』、共著に『持続可能な社会のための環境学習』など、論文やエッセイはたくさん書いた。現在は、百姓・うらない作家として、山村で野良仕事をしながら手芸をし、主に個人ホームページに論考や資料、植物と人々の博物館に証拠標本・文献資料などを整理して一般公開している。

「生き物の文明への黙示録」 www.milletimplic.net/

連絡先メール: kibi20kijin@yahoo.co.jp